

## 特別講演

### 認知症高齢者の生活行為に得意を活かす作業療法

田平 隆行氏(鹿児島大学医学部保健学科 教授)

司会：白鳳短期大学 毛利陽介

本文：

新オレンジプランでは、住み慣れた地域に継続して生活できるよう推進しており、有する認知機能等を最大限に活かした ADL/IADL に対するリハビリテーションを重視している。ADL 障害は、主観的認知障害や軽度認知障害の段階から、中長期的なマネジメントを含む金銭管理や服薬管理等の複雑な IADL から障害され、認知機能の低下に伴い買い物や電話、Basic な ADL へと進んでいく。しかしながら、中重度者であっても部分的に残存していることは多く、それらの工程を継続して実施できるよう支援することが重要であると考えている。同時に認知機能に応じて低下する ADL 工程の特徴を捉え、視聴覚等の手かがりや残存機能を活かした介入や物理的環境等から支援することが求められる。我々の研究グループでは、生活行為の障害及び残存する工程を捉えやすい生活行為工程分析表（Process Analysis of Daily Activity for Dementia; PADA-D）を開発し、在宅のアルツハイマー病高齢者を中心とした生活行為の特徴を示してきた。例えば、調理では、献立や食材の調味については障害されやすいが、食材の加工（切る・剥く、炒める等）など手続き的記憶を利用しやすい工程では残存しやすいことを明らかにした。既存の ADL 評価表は行為全体を介助量で示すものが多いが、PADA-D は個人の ADL/IADL 上の得意／不得意な部分を検出するの役立つ。2019-2020 年、我々は地域在住のアルツハイマー病高齢者に対し生活行為分析に基づいた 3 か月間のリハビリテーション介入（非ランダム化比較試験）研究を実施した。介入方法は、代償できる認知機能の活用、技能練習、物理的環境に対する介入、家族・介護者への支援教育であった。その結果 PADA-D 総合得点に有意な交互作用が見られ、特に介入の多かった洗濯で顕著に改善した。また、目標に対する満足度、遂行度も有意に改善した。生活行為を工程分析し、目標や介入ポイントを明確にした支援は、認知症高齢者が住み慣れた地域に継続できるための一助になるかもしれない。

また、認知症の介護予防には、自身の意味のある活動に従事し、満足することが抑うつやアパシー、さらには認知機能低下の抑制に寄与する可能性がある。当日はこれらのデータもお示し、認知症であってもなくても本人の意味のある活動や生活行為に従事するために、得意な部分を引き出し、それを最大限活用できるよう支援していきたい。

## 講師略歴

---

平成 5 年 3 月 長崎大学医療技術短期大学部作業療法学科 卒業  
平成 5 年 4 月 医療法人春回会長崎北病院 作業療法士  
平成 10 年 8 月 学位授与機構にて学士を取得 学士(保健衛生学)  
平成 13 年 3 月 長崎純心大学大学院人間文化研究科博士前期課程修了修士(学術福祉)  
平成 13 年 4 月 国際医療福祉大学保健学部作業療法学科 助手  
平成 16 年 4 月 長崎大学医学部保健学科 助手  
平成 17 年 3 月 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科博士後期課程  
修了博士(保健医療学)  
平成 19 年 4 月 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻 助教  
平成 23 年 4 月 西九州大学リハビリテーション学部 准教授  
平成 28 年 4 月 鹿児島大学医学部保健学科作業療法学専攻 教授  
認定作業療法士(第 362 号)

### 【主な著書】

- ・田平隆行:軽度者・中高度者に対する作業療法. 認知障害作業療法ケースブック. メディカルビュー一, 東京, pp6-15, 2021.
- ・田平隆行:認知機能評価指標の使い分け—認知症患者の認知機能評価に適した指標—, どう向き合う!? 高齢者の認知機能. 牧迫飛雄馬編集, 光文堂, 東京, p55-67, 2019.
- ・田中寛之, 田平隆行:根拠に基づいた認知症リハビリテーション介入を行うために, evidence based で考える認知症リハビリテーション. 田平隆行・田中寛之編集, 医学書院, 東京, p2-4, 2019.
- ・田平隆行:認知症の重症度別特徴, 軽度認知障害・軽度認知症. evidence based で考える認知症リハビリテーション. 田平隆行・田中寛之編集, 医学書院, 東京, p14-19, 2019.
- ・韓 旻熙, 田平隆行:軽度認知障害・軽度認知症の認知機能評価. evidence based で考える認知症リハビリテーション. 田平隆行・田中寛之編集, 医学書院, 東京, p38-43, 2019.
- ・田平隆行:ADL 評価, 軽度認知障害・軽度認知症. evidence based で考える認知症リハビリテーション. 田平隆行・田中寛之編集, 医学書院, 東京, p50-55, 2019.
- ・丸田道雄:BPSD 評価, 異常行動. evidence based で考える認知症リハビリテーション. 田平隆行・田中寛之編集, 医学書院, 東京, p102-106, 2019.
- ・丸田道雄:認知症者へのリハビリテーション介入, 認知的介入. evidence based で考える認知症リハビリテーション. 田平隆行・田中寛之編集, 医学書院, 東京, p161-166, 2019.
- ・田平隆行:ADL 介入, 軽度認知障害・軽度認知症. evidence based で考える認知症リハビリテーション. 田平隆行・田中寛之編集, 医学書院, 東京, p167-171, 2019.
- …その他講演や論文多数